

一般質問 議:議員/理:理事者

- 自動運転バス運行について
- 農業機械の貸し出しについて

その他の質問

- ・無人駅を利用した展示場所開設について
- ・図書館の有料宅配サービスや電子書籍サービスの導入について
- ・修学旅行費用への補助について



市政会 下道恵子 議員

議 タクシーやバスの運転手が不足してきている。永平寺町では未来のバスとして観光用に国内初の無人自動運転サービス（レベル4）を運行中であり、石川県小松市でも令和6年の3月より小松駅から小松空港まで自動運転レベル2（オペレーター付き）でバス運行を始めた。市も今後のために自動運転バス運行を検証していく予定はないか伺う。

理 自動運転技術は高齢者をはじめ市民の移動手段の確保や運転手不足の解消、物流の効率化、交通安全の確保など多様な課題解決に有効であると認識している。市でも永平寺町の自動運転をバックアップしてきた産業技術総合研究所から話を聞くなど情報収集を行っている。今後も自動運転に関する技術開発状況に注視し、導入も視野に入れた研究を進めていく。

議 離農を決意する理由の一つに農業機械が古くなって壊れた時に新しい農業機械が高額で買えないからという理由がある。後継者がいないとなおさらである。そんな小規模農家の離農を抑止しようとトラクターや田植え機・コンバインなどの農業機械の貸し出し事業をしている自治体があるが、市でも農業機械を貸し出しする事業を検討しないか伺う。

理 市では米作り農業の集約化を進め、生産効率を高めることで稼げる農業を目指している。一方で、人口減少や高齢化により地域コミュニティの弱体化が懸念される中、農村集落の維持には小規模兼業農家の存続も必要と考える。近年、農機具メーカーによる農機シェアリングサービスが普及してきており、市でも現状の草刈機貸し出し事業に加え、当該サービスとの連携や賃借料支援事業を検討してまいりたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山中学校について
- 災害時の高齢者等支援について

その他の質問

- ・少子化問題について



森 かよ子 議員

議 勝山中学校について様々な質問がされ、それにより再編計画も当初より変更になった点がある。今現在の最新の情報として、校舎、給食室、地下横断歩道それぞれの、国、県の補助金と市負担の予算を伺う。

理 令和6年3月の予算委員会等で説明のとおり、令和8年度までの継続費として、約43億5,000万円を見込んでいる。校舎等の建設については、文科省と国交省の補助金を合わせて約21億3,600万円、市債で約17億4,600万円、一般財源で約4億2,500万円となっている。当初予算時には校舎と給食室は一体的な建設を想定していたため合わせて約37億5,000万円、そのうち文科省と国交省の補助を合わせて約19億7,000万円、市債は約16億円、一般財源は約1億8,000万円。地下横断歩道の建設事業費は約4億5,000万円、このうち国交省の補助として約1億4,000万円、市債が約1億2,000万円、一般財源で約1億9,000万円。ただし、文科省の建築単価の見直しにより、補助金が増額となったこと、市債については、過疎対策事業債が別枠で満額配分されることから、市の負担は大幅な減額となること、給食室を別棟として建設することなどから、今後の補正予算において財源の組み替えを行わせていただきたい。

議 高齢者の生活支援サービスは、市町村を核とした支援体制の充実、強化が必要になり、民間とも協働して、支援体制を構築しなければならないと考える。個別支援計画はどのように策定し、要援護者は災害時に取り残されることがないシステムになっているか伺う。

理 毎年世帯ごとに申請いただき計画を作成している。申請書の親族・避難支援者緊急連絡先欄に近所の方の記載がなく、親族や同居家族のみ記載の方が多い。今後は区長会で制度の趣旨も含めて、お互いに助け合い、一緒に避難していただけるような近隣の方も記載いただきたい旨を説明していく。